

輝け！ 我ら錦城星☆



速報版

錦城高等学校新聞委員会
編集室 2025

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…錦城祭開催！
実行委員長の言葉
二面…魅力を紹介！

ついに錦城祭 開幕！

錦城高校では錦城祭に向けて各団体が夏休みの前から時間をかけて話し合いを重ね、入念な準備が行われてきた。ここではその様子を一部お伝えする。

ペイマックスにご注目 1J

1年J組では、デイズニールランドにあるコーヒーカーップをモチーフにしたアトラクションをモデルに、「Jマックスのハッピーライド」を行う。

取材で1Jを訪れた時は、カップを作るために木材にやすりをかけたり、木材と木材をくっつけたりしていたが、まだやるべき作業がたくさん残っているようで、「正直ピンチです！」と生徒が準備をし

ながら話してくれた。1番の見どころは、外観のペイマックスで、1Jの集大成だそう。「みんなで楽しませよう!!」と笑顔を見せた。

「カジノに遊びに来て」1M

1年M組の企画、「Casino Royale 13」は教室を彩る準備が着々と進んでいる。内容はコインを賭けてルーレットやブラックジャックなどのゲームを楽しむカジノだ。準備中の生徒にインタビューすると、「入口の大きなアーチや、手作りのランプの壁飾りが見どころです!」と教えてくれた。さらに、教室全体を暗幕で覆い、光を落とすことで本物のカジノさながらの雰囲気演出する予定だという。生徒は「お客さんにここだけの非日常感を味わってもらいたいです」と笑顔で語った。放課後の教室には笑い声が響き、仲間と協力しな



木材と木材を電動ドリルでくっつけるクラスメイトを全力応援

実行委員長の言葉 錦城祭にかける思い

錦城祭実行委員長の黒崎大季さん(2I)に去年と変えた点を聞いた。黒崎さんによると、今年は去年より生徒による飲食企画や来ていただくキッチンカーが増えているという。狙いは待ち時間の短縮や飲食企画をやりたという生徒の解消だ。「成功してほ



笑顔を見せる黒崎さん

しいという気持ちが一番大きいですね」と話す黒崎さん。今年の錦城祭のテーマ「錦城星〜輝け僕らの青春〜」には錦城生がそれぞれ個性あるさまざまな企画を作り上げ、錦城高校の1つの星を作ろうという意味が込められていると話す。「みんなが全力で楽しめる錦城祭にできたらと思います」と意気込んで見せた。(風)

から作業に取り組み姿が見られたM組。当日はぜひM組のカジノに遊びに来てくださーい!」と呼びかける。

新しい八番出口の形を 2D

2年D組は、今話題のゲームを基にした企画「八番出口」を行う。準備中の雰囲気からは和気あいあいとしながらも



「8」に色を塗る

活気に溢れた様子が見えた。企画準備をしていた生徒によると用意した3コースで合計8個の異変が見つけられるシステムになっているそうだ。来場者に新しい形の八番出口を見つけてもらえたら嬉しいですよ」と話してくれた。(裏面に続く)

むらさき草

編集部の部屋の棚には、過去の錦城高校新聞のアーカイブがある▼先日、前から気になっていた一番古い記事がまとめられているファイルを手にとった。初めはただ昔の記事を見てみたいという好奇心だったが、読んでいくと度肝を抜かれた▼例えば2009年の紙面。当時は湾岸戦争がおき、今では教科書に載っているような人物の名前とともに、当時の錦城生の意見が掲載されていた。レイアウトや書き方は今と全く違うが、当時の書き手の「仮定の大戦(第三次世界大戦)」を起こさないようにしよう!という思いはしっかりと伝わってきた。過去の錦城生の思いが伝わってくる記事を読む、という体験は中々に新鮮だった▼漫画「子」(魚豊 小学館)の作中に「文字は、まるで奇跡です」というセリフがある。60年も前の記事から当時の書き手の思いが伝わってきたのは、まさに「奇跡」だった▼最近国語の授業で読んだ話では、言葉は「とても、危なっかしい道具」と述べられていた。言葉にする前の思いは自分たちの中にだけ存在していて、言葉によつて今まで形がなかった思いが既存の型に押し込められてしまうという▼確かに、言葉を使って思いを表現するとき、しっかりと伝わらないこともあるし、誤解されてしまうこともある。そしてそれらはどれだけ文章を書く技術を向上させたとしても起こりうるだろう▼それでも私は記事を書き続けたい。あの日読んだ過去の記事からは、当時の先輩の「思い」が伝わってきた。どれだけ下手な文章であっても、先輩と同じように今の自分たちの思いを残そうとすることは無駄な事ではないと思う。自分の記事を読んでもくれる人に、どれだけ時間が経っても面白いと思ってもらえる記事を書いていきたい。(蓮)

錦城祭を陰から支えるチーフたち 「みんなに喜んでもらえるものに」

錦城祭ではたくさんの役割を生徒が担っているのも錦城祭の大きな特徴の一つだ。ここでは錦城祭に尽力した裏方を紹介する。

思い出になるものに！ スタンプラリー

今年も行われる錦城祭スタンプラリー。「錦城祭にきた記念として思い出になるものにしたい」と話すのはチーフの小松素玲さん(2C)。例年のスタンプラリーの景品はリストバンドなどが多かったが、今年は「実用性のあるものにしたい」「みんなに喜んでもらえるものにしたい」という想いと予算面から考えてクリアファイルと巾着に決定したそう。



ぜひゲットしよう！

景品の企画は、景品を決める→デザインを考える→美術部にデザインを描いてもらう→企業に発注する、の流れで進んでいくと説明する小松さん。その中で最も大変だったのは、企業に注文した時に企業側との意思疎通が上手くいかなかったことだと苦労を語った。

小松さんは「一人でも多くの人にスタンプラリーをしてほしいです」と思いを話してくれた。ぜひ錦城祭ではスタンプラリーを回って思い出作りの一環にしてほしい。(葎)

多くの人に届け！ パンフレット



力作のパンフレット

パンフレットチーフの佐藤さよさん(2J)に話を聞いた。今年はパンフレットのページ数を減らして一冊当たりのコストを減らすことで、部数を増やし、より多くの人手に渡るようにパンフレットを変えたそうで、「途中で去年はパンフレットが余ったことを知ったのですが、ページ数を減らすことでより読みやすくなるというメリットもあり、今年は去年に比べてページ数が減っています」と説明してくれた。しかし今年は減ったばかりではなく、キッチンカーの説明が載ったページが増えていたりもする。

パソコンの打ち込み作業が大変だったと笑いながら話す佐藤さん。「色んな人に読んでもらえたらなと思っています。待ち時間などに読んでもらえたら嬉しいです！」と話してくれた。(風)

新聞委員会編集部も企画やってます！

編集部が企画した「錦城年代記(クロニクル)～時を超えて輝く言葉たち～」。部員による過去の紙面のセレクトや最近の紙面のピックアップの展示を見ることがができます！

しかも今年は、なんと編集の様子を大公開！部員たちが操作するパソコンの画面が電子黒板に映るライブ方式！場所は新校舎二階、階段の目の前。

「新聞の魅力はいろいろな人と関わるところだと思います」と話すのは飯田夏乃香さん(1K)。「新聞の良さが伝わる展示になっていたらなと思います」と微笑んだ。

今年の目玉の展示は部室から掘り出された創刊号や錦城新聞初の英字新聞「KINJO TIMES」。この機会にぜひご覧ください！



錦城とともに歩んできた新聞たち

(表面から続く)
「ボム兵も待つてるよ」 3K
3年K組は「K組カート事故多発中？」という企画だ。K組はJ組、L組と合同で大阪の街をイメージした合同企画を行う。その中でもK組はマリオカートを参考にしたアトラクションを担当している。そんなクラスの現在の進捗状況をクラス企画係代表の生徒に伺った。取材日は丁度、カートとして使うスケートボードにマリオカートをイメージした装飾をしたり、カートが走るコースの確認を行ったりしていた。クラス内には、マリオシリーズに出てくるボム兵や



大阪感あふれる装飾

1970年に行われた大阪万博の象徴である太陽の塔がすでに完成している。

3クラス合同の企画に至ったのは、K組、J組、L組がすべて進学文系のクラスで仲が良かったため、生徒から3クラス合同で一緒にやりたいという意見が多かったことにあるそう。錦城祭で3Kを訪れた

際には、ユニバーサルスタジオオジャパンや大阪を彷彿とさせるデザインの多くある装飾にも注目してほしい。そして、ぜひ合同企画を3つとも制覇してみよう。

「生物部」

毎年、大人気の企画の一つの生物部の展示。今年は生物研究室が旅する宇宙船が企画されている。部長の安武小夏さん(2I)に話を聞いてみると、今年の錦城祭のテーマ「星」から生命の輝きを連想して宇宙船というコンセプトにたどり着いたそう。普段飼育している動物の可愛さ、素晴らしい来場者に届けた

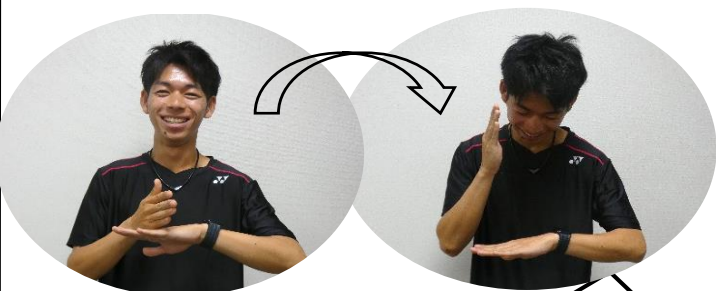


展示の準備をする部員たち

いです」と意気込む。安武さんの個人的なお気に入りではデグーという大きなトカゲだそう。生き物を運ぶときはストレスをかけないよう、に気を配ったりして大変でした」と苦労を話す安武さん。「今回は夏の合宿で捕らえた生き物も展示しています。ぜひ見に来てください！」と笑った。

手話を覚えよう！②

11月に東京でデフリンピックが開催されるのに関連して、編集部ではデフリンピック特集を企画している。連載企画として、先生方に簡単な手話を実演していただいた。みんなで手話を覚えてみよう！



今回、手話を実演してくださったのは、数学科の榎本拓真先生。第2弾で紹介するのは「ありがとう」という意味の手話。手のひらを下に向けた左手の上に右手を添え、右手を上へ挙げる動作だ。ありがたそうな表情を浮かべることも気持ちを伝えることにおいて重要なポイント！(桃)

感謝を伝えることは大事な事です。耳の聞こえない人も私たちが簡単な手話を覚えれば嬉しいと思うので、実際に言葉を伝えるために手話を覚えてみるのいいと思います。手話だけではなく、お辞儀をして感謝の気持ちを伝えましょう！(榎本先生)